

道義なき議会騙しだ。

実地測量なしの用地取得議案が議会で承認
川合行政による火葬場完成におけた強引な手口

許せない!!

呆れ果てた川合よしあき市長の市民無視・議会軽視・前代未聞の

暴走を許すな。川越市議会は市民のための議会なのか!!

それとも川合市長の大政翼賛会に墮ちるのか。

川越市議会第三回定例会（六月定例会）において小仙波地区に建設予定されている火葬場「仮称川越市新斎場建設事業用地の取得について」の議案第四十七号の質疑が六月十三日通過承認され現在、総務財政委員会に付託されている。

これは一見なにごとくもなく議会で承認された案件と思われるがちであるが、ここには許し難い川越市川合行政による市民と議会をナメくさったまやかしが隠されていたのだ。

川合行政は実地測量なしの用地取得議案を議会に持ち込み公簿面積による用地取得にすり替えたのだ。これは正に議会軽視だ。しかし、議会が行政主導のままに厳しい審議なく議案を可決すれば市民のための議会努力はゼロである。

市民が選出した市民の代表である市議らが、この議案に関し深く意を注げば、本会議における質疑の段階で川合行政の暴走を止めると同時に、議会を軽んじ甘く見た川合行政に対し議会尊厳の鉄槌を下せばはずである。もし議会がこの事実を内密に知りながら承知したのであれば、それは市民に対する裏切り行為であり、市民から川越市議会は「大政翼賛会」だとの罵声を浴びるであろうが、そこまで川越市議会は堕ちていないはずだ。

実測すれば必ず誤差が生じる架空の公簿面積で土地売買取引を

行うことはもってのほかで行政・議会が守るべき公平・公正を欠く行為だ。

なぜならば、公簿1000㎡に基づき売買してその後実測したら1100㎡であった場合、余分に買ってしまった100㎡はどうするのだろうか？ また、公簿1000㎡に基づき売買してその後実測したら900㎡であった場合、払い過ぎた100㎡分の市民の血税はどうなるのだろうか！ たとえ一円たりとも市民の血税を無駄に支出することは決して許されない。

市の所有地を売却するときは、かならず実測して売却する。

同じく市が市民の土地を必要に応じて購入する場合も実測して購入することが行政の鉄則であり、守るべき公平と公正に則る常識行為である。

総務財政委員会は、川合行政の公平・公正の規範を破棄する行為に力を貸してはならない。議員の理解力の隙を突く行為を仕掛けた川合行政は市政末代までの恥だ。

なんと川越市は、反対地権者に対し自ら測量凍結を申し出ている。

現在、総務財政常任委員会に付託中の議案第四十七号「仮称川越市新斎場建設事業用地の取得について」には実地測量図が存在しない。それもそのはず、新斎場建設準備室はひた隠しに隠しているが、反対地権者のMさんに対して既に測量凍結（Mさんと話し合いがつくまで、各地権者と市道・水路の境界及び大外の測量を凍結する旨）を川越市自らが申し出てしまっていたのだ。（やり取り時の音声の本紙HPにアップ予定）

そもそも事を急ぐあまり実地測量もせずに「用地の取得について」の議案を議会に提出すること自体、民間の模範を示すべき立場の役所が厳に慎まねばならない行為のはずだ。これでは継続審議扱いで9月市議会送りするしかないだろう。